



「しぶかわ」



「令和元年度 卒業式」式辞

令和元年度の卒業式は、新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休校措置のため、「特別な3学期」、「特別な春休み」、そして、本日「特別な卒業式」を迎えました。卒業証書を手にした皆さん、ご卒業おめでとうございます。渋川小学校での六年間は、いかがでしたか。卒業にあたり、卒業生の皆さんが最上級生として咲かせた「3つの美しい花」にふさわしい言葉を贈りたいと思います。

生まれて間もなく、高熱のため、視力と聴力を失ったヘレン・ケラーは、「Keep your face to the sunshine and you cannot see the shadow.」（太陽のほうに顔を向ければ、影を見ることはない。）という言葉を残しました。

太陽は「未来」、影は「過去」を表すのでしょうか。常に、未来を見据えて生きるヘレン・ケラーは、自らの障がい乗り越えて、人々を救済する「奇跡の人」そのものでした。

「未来を見る」ことは、「未来を創る」ことに他なりません。皆さんが輝いた「渋川の未来を語る会」は、渋川の過去に学び、渋川の今を駆け抜け、145年続いた渋川の新たな未来を創るという先駆けとなりました。

「継続は力なり。」でしたね。どうぞ、つらいときも苦しいときも、顔を挙げて太陽を見つめ、信じた未来に向かって突き進むことを続けていってください。

古代ギリシアの哲学者、プラトンは、「The first and best victory is to conquer self.」（自分に打ち勝つことが、最も偉大な勝利である。）という言葉を残しました。

皆さんが花開いた「二本松市小学生陸上競技大会」や「二本松市小学生水泳競技大会」での数々の入賞の記録は、すべて、昨日の自分に打ち勝った結果です。圧巻だったのは、15人が力を合わせて練習に励み、陸上大会でも水泳大会でも、そのチームワークで、男女ともにリレーで入賞したことです。

「ライバルは自分」です。他の誰かと比べたり、争ったりするのではなく、絶えず、昨日の自分に打ち勝って、今の自分を大切に、心を込めて、誠実に、自分の心を育てていきましょう。

ミッキーマウスの生みの親であり、映画監督でもあるウォルト・ディズニーは、「The flower that blooms in adversity is the rarest and most beautiful of all.」（逆境の中で咲く花は、どの花よりも貴重で美しい。）という言葉を残しています。

皆さんが、この6年間の集大成として掲げた学級目標「ビューティフルー美しい花を咲かせようー」は、この逆境の中で、見事な「今年度の花」を咲かせました。春の大運動会での挑戦状「綱引き親子対決」、秋の学習発表会での創作劇「支え合う友だちーうつくしい花を咲かせようー」。最上級生として、この学び舎でしか見られない、美しい花を咲かせ、私たちを感動させてくれました。

しかし、花は必ず散るのです。だからこそ、そのひとときが美しいとも言われます。そして、必ず実がなり、次の年のために、その種を残します。そこで、皆さんにお願いがあります。今年、皆さんが咲かせた美しい花の実を、在校生のために一粒、分けていただけませんか。教室で、校庭で、体育館で、登校班も、清掃班も、各種委員会も、そして、大好きなクラブ活動に頑張った鼓笛隊と、6年間の学びの集大成が作った大切な種です。毎日咲かせた美しい花の種を、新年度、在校生に引き継いでいきたいと思っています。本当にありがとう。

「全力大作戦」は、今年のテーマでした。どうぞ、次の中学時代でも、自分の花を咲かせる意味をかみしめながら、夢に向かって堂々と、全力で、歩いていってください。

保護者の皆さま、本日まで慈しみ育ててこられたお子さまの御卒業、おめでとうございます。子育ての最中には、大きな喜びとともに、心配で眠れない夜もあったことかと存じます。しかしながら、少しずつ手が離れ、御家庭から学校へと、社会に向かって、仲間とともに歩き出すこの6年間の過程には、間違いなく、大きな成長があったことと存じます。本日まで、本校教育活動への御理解と御協力、また、「危機と責任と希望」を共有していただき、心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

さあ、卒業生の皆さん、今、旅の支度が調いました。「愛と正義のあふれる学校」から「未来社会の創り手となる」皆さんのますますの御活躍を心から祈り、式辞といたします。